

令和2年度事業計画

(2020年4月1日～2021年3月31日)

<基本方針>

ものづくり製造事業並びに地域の中核を担う中小企業を対象に、事業経営に関する具体的な支援活動を行う。

・事業化への諸課題解決 ・研究開発 ・資金調達 ・ネットワーク形成

ネオマテリアル研究会は2002年第I期産業クラスターにおいて、近畿地域の産官学連携体制のもと、ものづくりに必要な材料に関する幅広い研究会として発足しました。企業・大学・公的機関が協働で広域的な産業集積を図ることを目指して、地域の中堅中小企業の事業活動を支援してきました。

運営の基本は「参加企業の新しい取り組みを応援し、地域の活性化を図る」をモットーに、コーディネータ(正会員)による事業化支援活動にあります。

ネオマテリアル研究会を運営する正会員は、当研究会の活動を積極的に支援していただいている賛助会員並びに関係する中小企業と密接な連携のもと、参加企業の新しい取り組みや課題解決にお役に立つように活動を継続してゆきます。

<実績>

H31(R1)年度は、賛助会員の皆様へのお役立ち度を高めるため、企業別に担当正会員を決め、きめ細かい活動を目指す体制改革を行いました。

昨年度の活動結果の概要を以下に列記します。

- 1.情報提供；公募情報、展示会・セミナー案内(多数)
- 2.ネットワーク形成；セミナー開催、工場見学等7回、賛助会員並びに協力機関との連携9件
- 3.研究開発；研究開発方向付け、ライバル技術調査、専門機関紹介、騒音測定、一般技術相談等
- 4.事業化支援；賛助会員を訪問し諸課題に対応(延べ50回以上)
販路開拓、海外取引契約支援、工場診断等
- 5.資金調達；ものづくり関連補助事業申請支援(サポイン、もの補助採択)

<今年度方針>

①基本的考え

1. 賛助会員が抱える現実の課題解決を最優先に位置付け、政府省庁や自治体施策を活用して、スピード感をもって具体的な課題解決を図る。
特に新型コロナウイルス感染症で影響を受ける賛助会員企業には、関係機関の力も借りながら、その解決のための支援を行う。
2. 中期的には研究開発事業と資金調達事業に集中して取り組み、会員企業への貢献度を高める。

②具体的活動

個々の課題に対して、スピード感をもって(賛助会員別) 特別解を提案する。

- ・ 当分はメール等非接触で情報交換し、必要ならば直接面談
- ・ 主担当コーディネーターが中心となり賛助会員と情報交換し、概要は「賛助会員サポート履歴」に報告し、情報を共有

1. 事業化支援

担当正会員を中心に賛助会員を訪問し、現場、現物、現実を見据えて、具体的な課題解決を図る。

2. 資金獲得活動(R2年度はコロナ対応策として優先)

- ・ 省庁、自治体、民間が募集する助成金事業の情報収集・提供を行う。
- ・ 個々の賛助会員が抱える課題に相応しい公募事業を提案する。
申請書の完成度を高める実務作業も積極的に行う。

3. 研究開発活動

- ・ 専門研究機関の探索・紹介により、研究開発の効率的運営に貢献する。
- ・ 技術調査や特許出願等の側面的支援も積極的に行う。

4. 一般活動

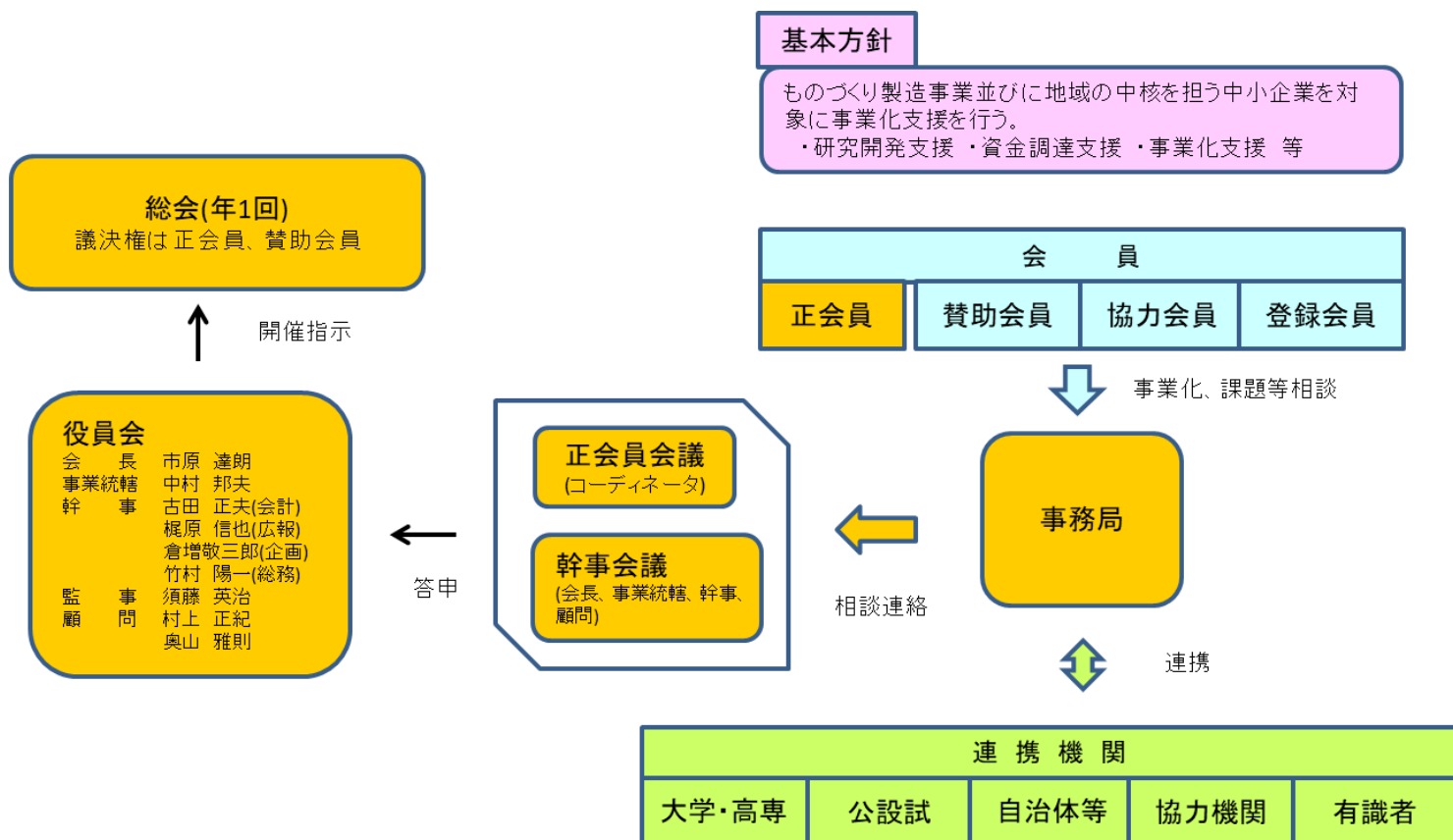
- ・ 本会の存在意義を高めるために、セミナー、見学会等の行事は継続する。
- ・ 会員別に相応しい行事(講習会、展示会等)の情報収集に努め、当該企業に情報提供し、事業活動を側面的に支援する。
- ・ 公募情報等の重要情報は、メルマガ、HPを通じて、積極的に発信する。
- ・ 販路開拓等の支援も、当研究会のネットワークを通じて、積極的に行う。

③効率的組織運営

1. 正会員の交流を密にして、賛助会員に関する情報を共有化して、組織として企業の抱える課題解決を図る。
2. 複数の運営幹事を選任し、企画立案を行うとともに、具体的実務を分担する。
3. 賛助会員相互及び一般・登録会員間の交流促進に努め、課題解決の効率的推進を目指す。

4.財務基盤の確立

- ・会員増強の働きかけにより安定収入を目指すとともに、スモールオフィスを目指して、諸経費の節減に努め、財政基盤の確立をはかる。



<参考 1>ネオマテ活動

